

かたの



R7.1月7日号
形埜小学校
校長室だより

令和7年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。保護者の皆様、学区の皆様には、旧年中は何かとお世話になりました。令和7年も形埜小に変わらぬご厚誼を賜りますよう、職員一同お願い申し上げます。

さて、令和7年度には、形埜小には大きな変化が訪れます。一つは12月23日付の本紙でもお伝えした複式化ですが、実はもう一つ「コミュニティ・スクール設置に向けた設置準備」というものがあります。これは「特色ある学校づくり」「地域に開かれた学校づくり」のための取組として文部科学省が推進しているもので、保護者や地域、学校が参加する「学校運営協議会」を中心に、学校や地域の課題を共有し、解決に向けた取組を進めていくというものです。岡崎市内では、すでに六ツ美中部小と下山小に設置済、大門小・上地小・北野小には令和7年度より設置されています。そして形埜小を含む未設置校にも「令和8年度からの設置に向けた準備開始」の通知が市教委より出されました。要するに、令和7年度の1年間を使って準備を行い、令和8年度から開始しなさいということです。では、実際に私たちは何をしなければならないのでしょうか？

新しい組織を設置というと、何やら大変そうな感じがします。しかし本校では、以前より保護者の皆様、学区の各組織の支えを基盤にした体験的活動が多く行われており、やってきたことは、実は「コミュニティ・スクール」そのものです。ですから実際には、活動内容はこれまでのものを継承しつつ、枠組みを少しだけ新しくし、組織を整えること作業を令和7年度に行うこととなります。保護者の皆様にとって、新たな負担が増えることは「ほぼない」とお考えいただいて構いません。

本日から始まった3学期。すでに学校では、激動の令和7年度に向けた諸準備を始めています。様々なことが大きく変わりますが、子供の幸せを第一に計画を立ててまいります。次年度の年間計画等、定まった時点でできるだけ早くお示ししますので、今しばらくお待ちください。今後ともどうかよろしく願いいたします。



令和7年元日朝の形埜小 初日が出かかるひと時です。晴れ渡る空のもと とても穏やかな新年でした。